

# 令和5年度農作業事故発生状況

令和6年4月12日

農産園芸課

## 1 概要

- 調査期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- 事故状況  
事故件数… 65件（死亡4件、重傷15件、軽傷43件、不明3件）（前年比+17件）  
死亡者数… 4人（前年比▲4人）

## 2 死亡事故

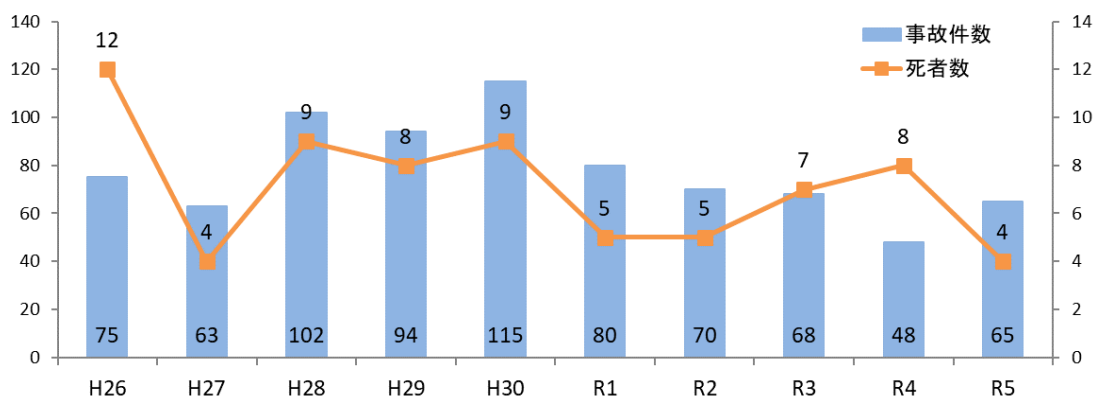
4件中3件は機械利用時の事故です。機械利用時の事故は、重大事故に繋がりやすいため、以下のようなことに気を付けてください。

- 作業前に取扱手順・使用上の留意点を再確認
- 日頃から危険箇所を把握・共有
- トラクター等運転時は、シートベルト・ヘルメットを着用
- 点検時はエンジンを停止

### 【令和5年度に県内で発生した死亡事故】

発生日	市町村名	年齢／性別	事故内容及び原因等
4/22	新発田市	80代男性	手押し式の耕うん機のハンドルと骨組みの間に挟まれた。
7/14	津南町	70代男性	農作業道整備（農用水路管理）のため、山林内で雑木伐採中、上半身が倒木の下敷きとなった。
7/31	長岡市	60代男性	田んぼを耕うん中にトラクターとともに、他の田んぼへ転落した。
8/31	新潟市	30代男性	ポット積上げ機に不具合が発生し、点検作業に当たっていたところ、アームと架台に首を挟まれた。

### 【参考】 農作業事故発生件数と死亡者数の推移（直近10年間）



事故総数、死亡者数とも増減を繰り返しています。

令和5年度は、前年度に比べ死亡者数が減少しましたが、事故件数は増加しました。死亡事故ゼロを目指し、引き続き農作業安全に取り組みましょう。

### 3 年代別事故状況

農作業事故は世代を問わず発生していますが、特に60代以上で多く発生しており、約7割を占めています。

熟練した農業者の方でも、日々の体調や作業遅れによる焦りなどで事故を起こしてしまうことがあります。慣れた作業でも、自分は大丈夫と思い込まず、作業前に起こりうる事故を想定し、その対策を考えて作業を行うことが重要です。

(単位：人)

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
死亡			1			1	1	1		4
重傷		1		3	3	6	1	1		15
軽傷		2	2	2	3	10	13	11		43
不明					1		1		1	3
合計	0	3	3	5	7	17	16	13	1	65

### 4 原因別事故状況

事故件数の多い「農機以外の事故」は、用水路への転落やはしごからの転落などです。

また、6月以降は熱中症も多く発生していますので、こまめな休憩、水分・塩分補給など、熱中症予防に取り組みましょう。

(単位：件)

原因等 \ 期間	4/1~5/31	6/1~8/31	9/1~10/31	11/1~3/31	合計	構成比
トラクター	3	1(1)	1		5(1)	7.7%
耕うん機	1(1)	2			3(1)	4.6%
防除機	1				1	1.5%
コンバイン			4		4	6.2%
田植機	4				4	6.2%
草刈機・刈払機	1	5	1		7	10.8%
その他農機	1	4(1)	2		7(1)	10.8%
<b>農機以外</b>	<b>6</b>	<b>13(1)</b>	<b>7</b>		<b>26(1)</b>	<b>40.0%</b>
自動車・運搬機		1	1		2	3.1%
<b>熱中症</b>		<b>6</b>			<b>6</b>	<b>9.2%</b>
動物等					0	0.0%
不明					0	0.0%
合計	17(1)	32(3)	16	0	65(4)	

・かっこ内は、事故件数のうちの死亡事故の件数

・構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。